

シリーズ

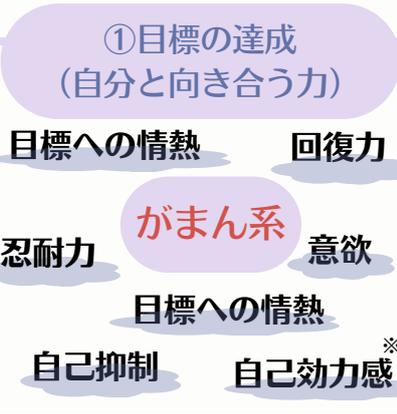
3 非認知能力ってなに？ Vol.2 

前回は、非認知能力についてご紹介いたしました。学力や知能といった認知能力

に比べ、数値化しづらい非認知能力。大きく3つに分けて考えられているよ
うだというお話しをしました。さて、それぞれ3分野、伸ばしていくとどんなプラス
の面があるのでしょうか？実はプラスだけではない、マイナスに働く可能性の面も
あるようです。少し詳しくみていきましょう。



- *いつも安定していて表情や態度に落ち着きがある
- *計画を忍耐強く注意深く進められる
- *落ち込むことがあっても、気持ちを切り替えて再び取り組むことができる

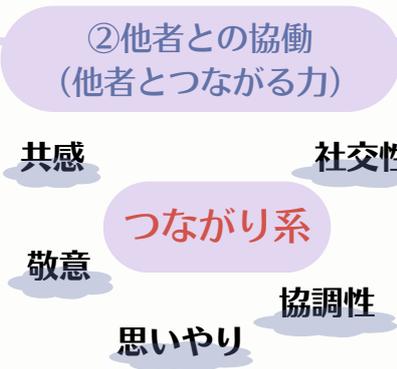


- *自分の感情の変化が周りに理解されにくい
- *突然の出来事に弱い、臨機応変な対応が難しい
- *ストレスを抱え過ぎてしまう

※1：自分ならできる



- *他者との意思疎通が取りやすい「受信」と「発信」ができる
- *他者の感情や思いを想像的に理解することができる
- *たくさんの人と仲良くすることができる



- *自分と相手との一致感を押し付けてしまいやすい
- *相手に心を砕きすぎて精神的な疲労が生まれる
- *他者との衝突を避けるために自分の主張が少なくなる

- *新しいものを好み、そこに喜びを感じられる
- *難しいことが立ちほだかっても、自分の可能性を信じていることができる
- *いろいろな取り組みの中に楽しみを感じることができる



- *一つのことを継続しにくい
- *無謀な挑戦をしてしまう
- *楽しみがひとりよがりになってしまい、周囲と合わないこともでてくる

※2：自分を大切にできる力

いかがでしょうか？非認知能力って大事！と聞き、しっかりと身に付けたいと思いきや、どうやらバランスが大切なようです。バランスよく、こどもも大人も能力を高めて、人生の幸福度、高めていきたいですね。

